



モジュール9. 症状マネジメント: 全身倦怠感

教育時期: 1年目後期

教育方法: 講義・ケースカンファレンス・自習



9-1) 倦怠感

- 目的

倦怠感の原因と看護を理解する。

- 大項目

(1)倦怠感の定義

(2)倦怠感の原因

(3)倦怠感のある患者の看護



9-1)-(1) 倦怠感の特徴

- 倦怠感とは体調の変化に伴い、身体的、精神的、認知的という3つの異なった側面に関して、エネルギーや活動能力の低下により、休息しても回復しない持続的な状況であり主観的な感覚である。



9-1)-(2)倦怠感の原因

- 悪液質
 - ・蛋白質の代謝異常
 - ・糖質代謝異常
 - ・脂肪代謝異常
 - ・サイトカインによる影響
- 貧血
- 高カルシウム血症
- 低ナトリウム血症
- うつ など



1-1)-(3)倦怠感のある患者への看護

- 生命予後を見極め、原因治療が可能ならば優先して行なう。
- 倦怠感を含めた身体症状のコントロールを行なう。
- 1日の活動を優先順位を決めて、無理なく行なえるように援助する。
- 気分転換・マッサージ・リラクゼーション
- 活動性の低下に対する日常生活援助
(清潔・更衣・排泄・身の回りの整理整頓)
- 転倒などの事故防止



評価

- 全身倦怠感のある患者の看護が実践できる。